

平成 23 年度公共事業評価結果(事後評価)をお知らせします

長野県では、工事完了後一定期間を経過した公共事業の効果の発現状況や、改善措置の必要性などを検証する事後評価を、平成 16 年度から実施しています。

平成 23 年度は、県が事業を実施した 18 事業 18 箇所の評価を行いました。評価結果は今後の同種事業の計画・調査のあり方の検討などに活用していきます。

1. 評価対象事業及び箇所

- 評価対象事業は、環境部、農政部、林務部、建設部が所管する公共事業
- 評価対象箇所は、事業完了後一定期間(5 年を基本)を経過した箇所で、1 事業につき 1 箇所を実施

2. 評価結果の概要

- 事業効果の発現状況については、全ての箇所で事業の目的を「達成」していました。
- 住民アンケートによる地域住民等の評価(工事の必要性、税金使用の納得度、地域社会にとっての重要性、工事結果の満足度)については、8 割以上の箇所が「高い」との評価でした。
- 施設の維持管理状況については、ほとんどの箇所で適切な維持管理が行われていますが、急傾斜地崩壊対策施設に関して、落ち葉による側溝の詰まりや下草刈り等の維持管理がやや不十分な箇所もありました。
- 改善措置については、4 箇所で必要性が認められました(ため池下流の排水対策 感知式信号機の停止位置の標示改善 交差点での急な車線の絞り込みの改善 歩道内への電柱設置による路地から出る際の見通し悪化)。これらの事項については、平成 24 年度以降の事業実施に活用するとともに、改善できる箇所は対応を検討していく予定です。

【事業効果の発現が高い箇所】



道路改築事業(阿南町)
(国)151 号 落合～新野バイパス
(バイパス化による地域活性化)

【維持管理の評価が高い箇所】



防災林整備事業(松本市)
本郷
(地域の方と協働して森林整備を実施)

【地域社会への貢献が高い箇所】



県営中山間総合整備事業(駒ヶ根市)
駒ヶ根竜東
(都市と農村の交流による地域活性化)

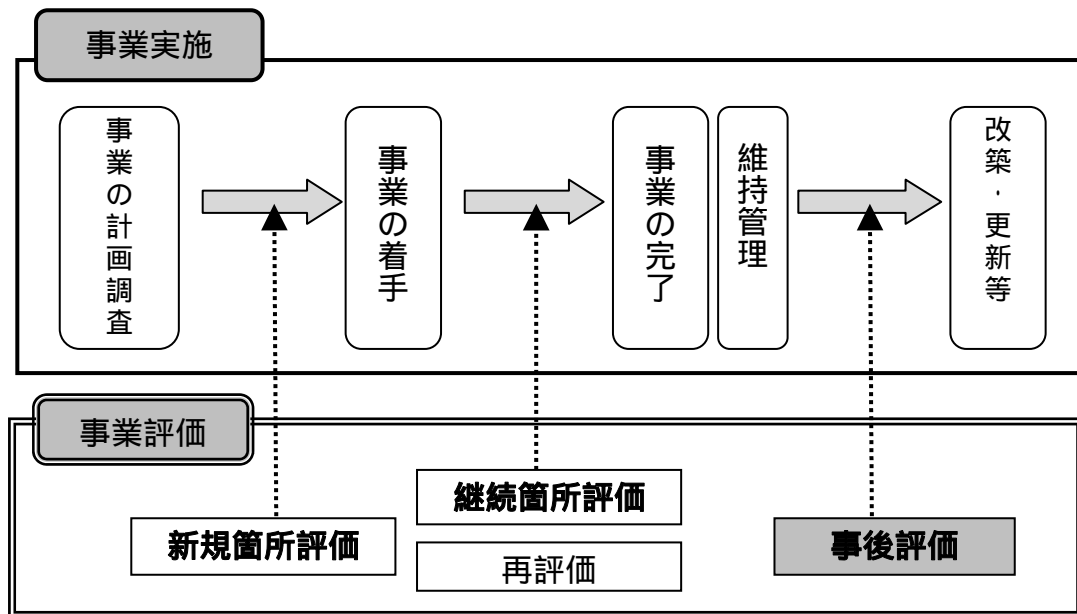
評価の観点	評価結果			
	S	A	B	C
事業効果の発現状況	1	17	-	-
事業実施に伴う自然環境の変化	1	11	6	-
施設の維持管理状況	7	10	1	-
地域住民等の評価		15	3	-
改善措置の必要性		14	4	-
事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況*1		3	5	

*1: 貢献状況が特にない場合は、評価の対象とはしていません。

< 評価ランクの基準 >

- ・ 事業効果の発現状況 S: 目的を超えた達成 A: 達成した B: 概ね達成 C: 達成したとはいえ
- ・ 事業実施に伴う自然環境の変化 S: 環境が良くなった A: 影響なし B: 影響あり C: 影響が大きい
- ・ 施設の維持管理状況 S: 地域の人たちの参加あり A: 適切にされている B: やや不十分 C: 適切にされていない
- ・ 地域住民等の評価 A: 評価が高い(肯定意見70%以上の項目が、全体項目数の70%以上)
B: 中程度の評価(A,C以外)
C: 評価が低い(否定意見50%以上の項目が、全体項目数の50%以上)
- ・ 改善措置の必要性 A: 改善の必要なし B: 小規模な改善が必要 C: 大規模な改善が必要
- ・ 事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況 A: 貢献度が高い B: 貢献している -: 特になし

3. 事後評価の位置づけ



4. 長野県の事後評価方法の特徴

- ・ 事業担当部と政策評価課による評価を実施
- ・ 評価の観点は全事業で統一
- ・ 全箇所住民アンケート調査を実施し、評価に反映

5. 評価結果の公表

評価資料(評価結果一覧表、評価シート、写真、アンケート結果)は、長野県公式ホームページ(http://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/hyouka/top_koukyou.htm)、県庁行政情報センター及び各合同庁舎行政情報コーナーでご覧いただけます。

企画部 政策評価課
(課長) 竹淵 哲雄
(担当) 青木 謙通 高林 栄治 西沢 彰
TEL. 代表 026(232)0111 内線 3723
直通 026(235)7020
FAX. 026(235)7471
E-mail: seisaku-hyoka@pref.nagano.lg.jp